

ちよいエコについて考える
フリーマーケットを開催



▲掘り出し物を探す来場者

6月14日、函南町役場駐車場でフリーマーケットが行われました。
今回のフリーマーケットには、77区画の店舗が出店し、衣類や雑貨、子ども用品などの販売、商工会員による飲食物の出店が行われました。
このほか、ごみとして出された自転車を環境衛生課職員が手直ししたリサイクル自転車の抽選販売や液肥の無料配布、ふじのくにエコチャレンジ実行委員会による「ちよいエコ宣言」、県民運動のPRが行われ、会場は買い物などを楽しんでいる来場者でにぎわいました。

危険区域などを再確認
土砂災害対応訓練



▲ハザードマップを作成する参加者

6月1日～6月30日は土砂災害防止月間です。
6月7日、函南町農村環境改善センターで土砂災害対応訓練が行われました。
同訓練には土砂災害危険区域の区民、国・県・町職員、田方消防、消防団など約100人が参加し、国土交通省や県職員の講話、各地区ごとに分かれたグループでのハザードマップの作成に取り組み、防災意識の高揚を図りました。
マップ作成では大雨が降ったことを想定し、各地区の危険箇所、避難場所、避難経路などを話し合い、万が一の行動方法などを再確認しました。

出水期の水害に備える
函南町水防訓練



▲土のうを作る消防団員と参加者

6月28日、かなみスポーツ公園で水防訓練が行われました。
水防訓練には消防団員、各地区の役員、消防団サポート隊、田方北消防署、町議会議員、町建設事業防災協力会、町職員など約300人が参加し、土のうの作り方や排水ポンプパッケージなど災害対策車両の説明、心肺蘇生法、模擬火災中継訓練を行いました。
これからの出水期に備えて河川が氾濫する可能性を想定し、改良積み土のう工法を全員で実施し、有事の際の連携体制を確認しました。

泥だらけになって
丁寧に苗を植えました



▲2、3本の束の苗を丁寧に植える園児たち

6月10日、函南町農業委員会主催による農業体験実習（田植え）が行われました。
同事業は食育推進を図るのを目的に、春光幼稚園、みのり幼稚園、二葉幼稚園の年長（5歳児）が参加。各幼稚園の近くの農地で農業委員の皆さんの指導のもと、泥だらけになりながら苗を一生懸命水田に植えていきました。
農業委員の皆さんから「苗は2、3本の束をまっすぐに植える」と指導を受け、園児らは「楽しかった。苗が大きく育つのが楽しみ」と感想を話していました。
10月には稲刈り、12月には餅つきを行います。

災害時の給水体制を確保
県が函南町・三島市と覚書



▲覚書を調印した両市町の首長と県企業局東部事務所の関係者

7月6日、函南町役場で県が函南町・三島市と災害時の給水機能向上に向けて「函南町調整池（境塚調圧槽を含む）、三島調整池の緊急給水および管理に関する覚書」の調印式が行われました。
県は昨年度、大規模地震などの緊急時における給水拠点の機能向上を図るため、平井の函南調整池内と三島市北沢の三島調整池に緊急水栓を設置しました。
覚書では緊急給水の体制確保や両市町への送水管の維持管理委託などを盛り込んでいます。
県が両市町に水を供給する駿豆水道は、柿田川を水源としていて函南調整池の貯水容量が2,000m³、三島調整池が6,900m³です。

第44回静岡県消防技術大会
水上の部「複合検索」で3位



▲救助技術大会・水上の部の結果報告をする隊員たち

6月10日、第44回静岡県消防救助技術大会・水上の部が県立水泳場で行われ、「複合検索」に出場した武士拓矢消防士が3位に入り、関東地区指導会への出場権を獲得。「溺者救助」と「水中検索救助」に出場した選手がそれぞれ好成績を収めたことを森町長に報告しました。
複合検索は、50mを泳ぎながら障害物の浮輪をくぐり対象物のリングを回収、確実性と迅速性を競う競技です。
武士消防士は、「田方消防として最後の大会になるので全国大会出場を目指して頑張りたい」と抱負を話してくれました。